

25～26 年度 第 1 回（一社）神奈川県建築士事務所協会 家づくりセカンドオピニオン専門委員会 議事録				
開催日時	平成 25 年 10 月 9 日（水）		会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	委員長 高橋英二 副委員長 中村輝守 委員 古居みつ子 中村輝守 吉川昭 担当副会長 棕茂廣 指導委員長 根岸光司 事務局 坂本歩美			
○棕副会長挨拶 ○委員自己紹介および委嘱状の進呈 ○前年度委員会（最終）議事録により、引き継ぎ事項の確認を行った。 ・行政や各関連団体への売り込みを行うための神事協PRパンフの作成については、総財務委員会を中心としてワーキンググループが作られることとなったため一任する。 ・インスペクター制度（住宅診断士）の整備については引き続き検討を進めていく。（国土交通省ホームページより、ガイドラインのダウンロードできるため、内容の確認をしておくこととなった。） ・各種名簿（調査鑑定、マンション大規模修繕等）との統一化については、企画委員会のデータベースシステム「SPD（神事協ポイントデータベース）」の利用を検討する。 議題 （１）委員長および副委員長の互選について ・委員長には、高橋担当理事が選任された。 ・副委員長には、前年度に引き続き中村委員が選任された。 （２）委員会規程等の見直しについて 「家づくりセカンドオピニオン業務実施規程」は、「社団法人」を「一般社団法人」に修正し、理事会での承認を諮ることとなり、その他の要綱等については、各委員に内容を精査しておいていただくこととなった。 （３）平成 26 年度委員会予算案の検討について 根岸指導委員長に作成していただいた「平成 26 年度家づくりセカンドオピニオン専門委員会予算案」を元に検討を行った。内容は下記の通り。 【平成 26 年度家づくりセカンドオピニオン専門委員会 予算案（第 1 次）】 ・平成 26 年度収入予算 175,000 円 ・平成 26 年度支出予算 154,500 円 ・会議費 48,720 円 ・講習会は年 1 回開催とする。（募集人数 50 名、受講料¥3,500） ・講習会については、指導委員会との共催も視野に入りたい。 （４）委員会年間スケジュールの確認について ・委員会開催は、2 ヶ月に 1 回とする。なお、 ・今年度は、インスペクター・チェックリストの項目をまとめることを目標とする。 ・棕副会長に構造・仕上げ・設備などの資料をご提供いただき、各委員に確認をしておいていただく。 ・次回委員会において、スケジュールをまとめる。 （５）その他 ・修正を行った予算書および実施規程については、事務局より各委員にメールにて送付する。 ・平成 26 年 1 月～3 月の苦情相談対応については、事務局より対応可能な日時をメールにて問い合わせさせていただきます。 ・次回は 12 月 11 日（水）13:00～ 神事協会議室にて開催。				

以上

25～26年度 第2回 (一社)神奈川県建築士事務所協会
家づくりセカンドオピニオン専門委員会 議事録

開催日時	平成25年12月11日(水)	会場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	担当副会長 棕茂廣 担当理事 高橋英二 委員 中村輝守 久保田登志男 事務局 坂本歩美		

○棕副会長挨拶

■議題

1. 平成26年度委員会予算案について

資料1により坂本職員が説明。総財務委員会より検討依頼があった箇所及び修正結果について下記の通り報告した。

【総財務委員会よりの検討依頼事項】

- 1) 研修会受講料講習について、ポイント利用者についても予測計上する。
→ポイント利用者10名として計上する。
- 2) 研修会講師料について、弁護士20,000円、会員講師6,000円(3,000円×2時間)にて検討。
→依頼の通り計上する。
- 3) 弁護士委員会出席交通費については、3,000円にて検討。
→依頼の通り計上する。
- 4) 講師集会講師について、弁護士以外の検討。
→講習会企画の際の検討事項とする。

また、平成26年度については下記の事業を行っていく予定であることが棕副会長から説明された。

- 1) 日事連による「既存住宅現況検査技術者(インスペクション)」関係の受け皿として、会員への周知や制度についての研究を担う。(日事連の委員会へは、福田業務支援委員長が出席する。)
- 2) 神事協独自の「いえかるて」「ホームズ君」などのような「プロによる家の履歴書」を整備し、普及させる。(委員には各自「いえかるて」をチェックしておいていただく。)
- 3) 家づくりセカンドオピニオンの実施については、当面は指導委員会による苦情相談を経て申込みを行っていただくこととし、シフト表の整備をする。なお、相談が複数回に及んだ場合について、同日開催の指導委員会にて意見交換を行うこととする。

【指導委員会との意見交換】

- ・相談が複数回に及んだ場合、無償で応じるのは限度がある。
- ・家づくりセカンドオピニオンの実施件数からみて、独自の登録名簿の整備は難しいかと思われる。
- ・家づくりセカンドオピニオン対応事務所の登録要件として、「建築物等調査・鑑定業務登録事務所名簿」への登録が必須となっていることから、当面の間は名簿を兼ねることはできないか。

【結論】

2月27日に指導委員会が開催する研修会の場において、家づくりセカンドオピニオン制度の説明を行い、「建築物等調査・鑑定業務登録事務所名簿」に登録する際に、「業務内容」として「家づくりセカンドオピニオン」選択できるようにし、対応できる事務所については登録してもらうこととなった。このことにより、家づくりセカンドオピニオンの相談についても、名簿での紹介を行えることとなる。

2. 実施規程等の見直しについて

資料2により坂本職員が説明。現時点では、内容についての細かい修正等を行わず、今後の動向によってその都度見直しを行う。

3. 相談案件について

資料3により坂本職員が説明。第2回委員会までに実施された相談業務についての報告をした。

4. その他

1) 日事連よりの情報提供について

日事連より「適合証明技術者」と「既存住宅現況検査技術者」の平成26年度の同時講習の実施についての情報があつたことを報告。

2) 次回日程等

- ・ 次回は平成26年1月22日（水）13：00～ 神事協会議室にて。
- ・ 平成26年2月27日指導委員会研修会において、家づくりセカンドオピニオン制度の説明を行うこととなったため、各委員に説明内容の検討をお願いした。

25～26 年度 第 3 回（一社）神奈川県建築士事務所協会 家づくりセカンドオピニオン専門委員会 議事録				
開催日時	平成 26 年 10 月 14 日（火）		会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 地下会議室
出席者	委員長 高橋英二 副委員長 中村輝守 委員 古居みつ子 白井勇 指導委員長 根岸光司			
1. セカンドオピニオン専門委員会が作られた経緯の説明を頂きました。（白井委員） 2. 委員会として既存住宅現状調査技術（インスペクション）を来年度予算に組み込んで進める。 1）本会としての受け皿はどのようにしていくのか？ 2）日事連の経過はどのようになっているか？ 3）既存住宅現状調査技術者の現在登録の神事協会員は？ →確認をする。 3. 「建築物等・調査鑑定業務登録事務所」講習時に「家づくりセカンドオピニオン」登録者対象に呼びかける。 1）予算を出来るだけ掛けない方向性で講習会を企画する。 4. 広報などで「家づくりセカンドオピニオン」を一般の方にわかりやすく表現することが重要。 5. 11月14日（金）、15日（土）神事協フェアの参加について 1）委員会として参加予定 14日 古居委員 15日 高橋委員長、中村副委員長 久保田委員 確認する。				

以上